

UCHICOCHI

う ち で の こ づ ち

LEADER'S VOICE

21世紀 ビジネス名鑑

京都大学ベンチャー ロボ・ガレージ代表
ロボットクリエイター

高橋智隆

SHOPコラボ@NAVI

池田牧場



ロボットが
活躍の新しい産業を
願う。

- プラザ事業紹介
- 滋賀県元気企業紹介
- SMILE
- TOPICS
- わが社のホームページ自慢

2006.VOL
39

ベンチャーが導く、 ロボットと 暮らす未来。

『鉄腕アトム』を読んでロボット博士を夢見た少年は、その後文系の大学を卒業するも、夢を実現するため再度京大の工学部に入学。在学中に斬新なアイデアの二足歩行ロボットを開発し、玩具メーカーから商品化され、全世界で5000体を売る。一人でロボットの開発に取り組む高橋さんにロボットの魅力とものづくりの神髄について語っていただきました。

京都大学ベンチャー ロボ・ガレージ代表
ロボットクリエイター

高橋 智隆

たか はし とも たか

●プロフィール●1975年生まれ滋賀県出身。30歳。立命館大学産業社会学部を卒業後、京都大学工学部に入学。物理工学科メカトロニクス研究室卒業。大学1年のときに趣味で作った二足歩行ロボットが企業の注目を集める。2003年大学卒業後、ロボットの技術開発・製作・デザインを手がけるロボ・ガレージを創業。京大ベンチャーインキュベーション入居第一号となる。関西テクノアイデアコンテスト2001年、2002年グランプリ。ロボカップ2004、同2005世界大会優勝。斬新なデザインの優れた二足歩行ロボットを次々と生み出している。





より自然な二足歩行を実現した体長35cmのロボット「クロイノ」。2004年にアメリカ「TIME」誌の有名企画「最もクールな発明」に選ばれた。

一家に1台、家庭用ロボットがやってくる。

今まで工場の中で働いていたロボットですが、近い将来、我々の暮らしの中で活躍する時代が来ます。そこでは、ロボットに対して今までと違った要望が出てくるはずです。一般家庭にロボットがやって来るとなると、メカむき出しの外観や、ぎこちない動きでは、人間が心地よく共同生活を送ることができません。より自然で、家族の一員として温かく迎えられようようなロボットでなくてはならないのです。これまで、そうした事は、重要視されてきませんでした。優秀な研究者ほど、数値化出来る性能や、学術的価値に注目するあまり、ブサイクでぎこちない動きのロボットを作ってしまうがちです。なので、私は、人間にとって受け入れやすい外観や動きを検討し、それを実現する為の技術開発を行う、という従来と逆のアプローチでロボット開発に取り組んでいます。家庭用ロボットが実用化すれば、非常に大きな産業となります。今、その成長過程にあり、例えば過去に自動車産業やコンピュータ産業でもそうであったように、いきなり大きな企業が一般向けに高品質低コストの商品を量産するのではなくて、その前段階としていろいろ独創的な発想やアイデアの蓄積が求められています。ロボットにおいても、無難なものを作るのではなくて、良くも悪くもとんがった、突拍子もないものを研究者やベンチャーが作っていくべきなのです。ベンチャーはこうした黎明期にこそ活躍し、大企業とベンチャーの間には、こうした役割分担があると考えられます。ホンダのアシモは間違いなく世界一のロボットです。人が識別できて、会話ができてと、いろんなことを盛り込んでいった総合力で優れたロボット開発が必要とされています。それに対して我々ベンチャーは専門店のようなもので、品数は少なくとも、こだわりのマニアックな商品ラインナップ。一点突破でどこかひとつ優れた部分を持ったロボットを開発しているのです。

ロボットとの共同生活は交換留学生のホームステイみたいなもの。

ロボットが人間の役立つモノとして考えるのは、欲求としては低級な発想です。それはある意味、奴隷的な考え方です。そうになると、人間は、ロボットが遂行する作業に対して完璧を求めすぎ、逆に人間側も不快になっていくことでしょう。一方的な主従関係は、ロボットと人間双方に不幸なものです。私が考えるイメージは、例えるならホームステイの交換留学生が家にやって来たような感じです。例えば暗算が得意だったり、視力6.0だったりなど、我々と違うすごい特技を持っている。しかし、土足で家に上がったり、箸が使えなかったりと、我々が当たり前に出ることに苦労する。ちょっと変わった奴だけど、それでも家族の一員として受け入れられる、ロボットもそんな存在になればと思います。別にロボットと暮らすことによって必ずしも便利になるだけではない。役に立つこともあれば逆に世話が焼けることも。それでも家族として愛されるためには、「親しみやすさ」が大事になってくるのです。そんな風にロボットと暮らす未来の風景を人々に垣間見せること、それがロボットクリエイターとしての活動です。

日本が世界に誇るロボット分野への期待。

実は、私は一度、立命館大学の文系学部を卒業しています。そして、自分の進路を考えたとき、やはりロボット開発がしたい、と思い立ち、京都大学工学部を受験し、2度目の大学生となりました。そうこうしている間に、ロボットに対する社会の関心が高まり、また、大学発ベンチャーや産学連携への支援が始まりました。そんな追い風もあって、京大卒業と同時に、ロボ・ガレージを京大内に創業しました。ただ、私自身は、ロボ・ガレージの事業を拡大したいとはあまり考えていません。それより、ロ

ボットクリエイターとして独創的な発明を続け、将来のロボット本格実用化時代に、どのロボットにも使われているような技術を残したいと願っています。そして、開発したロボットをサイエンスアートとして発表し、ロボットと暮らす未来像を提案しています。ロボ・ガレージの事業は、そうしたアーティスト的な部分をうまく利用し、ブランドとしての価値を高めています。「良いモノ」を作る企業は日本に溢れていますし、海外にも増えてきています。なので、新しい価値やイメージを提案できるような業態と、それによるブランド力が大切になってきます。結果、営業活動を一切しなくても、世界中の大企業からロボット事業に関する依頼が来るようになりました。私のロボットに共感した上で依頼してくるそうしたクライアントからの仕事は、私の価値観からはずれることのない良質なものです。そして、そうした企業からロボット商品が発売されていきます。なので、私は、基本的にプロトタイプ開発やコンサルに徹し、量産に関する部分は、相手企業に任せています。そうすることで、自身の得意とする分野に注力し、ベンチャーがやるべき事に専念しているのです。自身の強みは、アイデアやデザインを生み出すセンスと、もの作りの技術が融合している部分にあると思います。新しいアイデアを、洗練された形で、完成度の高い作品に仕上げることで、第三者にそのアイデアの優位性を伝え、また自分自身そのアイデアを発展させていくことが出来るのです。さて、まだ次世代ロボット産業は産声を上げたばかりです。産・官・学が協力し、市場を作り上げていく必要があります。ロボット分野は、日本が世界をリードする数少ない例です。関西を世界のロボット産業の中心地にしようという活動は、徐々に成果が表れつつあります。滋賀県では、多くの大学で優れたロボット研究が行われており、独創的な技術系企業もたくさんあります。このポテンシャルをうまく活用して、ロボットが滋賀の新しい産業に発展していくことを願っています。(談)

プラザ事業紹介 ①

産学官交流サロン

コラボしが21の2階の産学官交流サロンでは「産学官連携のはじめの一歩」を応援しています。平成17年度は、産学官連携に関する相談や関連大学への紹介などの他、【産学官連携の活用事例展】、【産学官連携・基礎セミナー】、【大学別・産学連携紹介セミナー】を開催しました。

【産学官連携・基礎セミナー】【大学別・産学連携紹介セミナー】は各々5回シリーズ、3回シリーズの開催で、基礎セミナーは、難しい大学の研究をより平易に理解していただくための入門編として、紹介セミナーは、大学ごとに、産学連携の具体的な進め方や各大学の特徴ある連携事例について紹介しました。



▲産学官連携・基礎セミナー風景。

産学官交流サロンでは、平成18年度も引き続き「産学官連携のはじめの一歩」を応援します！

●サロンの詳細は <http://www.shigaplaza.or.jp/salon/>

●問合せ先／滋賀県産業支援プラザ・産学官交流サロン
TEL.077-511-1423

セミナーの後には、大学の先生方と気軽に名刺交換や、ご相談いただける交流会や相談会を設け、参加された皆様にご好評をいただきました。



▲セミナー後の交流会・相談会。

【産学官連携の活用事例展】はより具体的に産学官連携のメリットや進め方を知っていただくための、大学や公設試験機関と連携して新たな展開を実現している事例の企業展示です。



▲産学官連携の活用事例展の展示風景。

サテライトオフィス

産学官交流サロンには「滋賀県立大学地域産学連携センター」と「びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ開発・支援センター」のふたつのサテライトオフィスも設置されており、専任のコーディネーターがお待ちしております。



滋賀県立大学
三好治樹さん

彦根は遠くて・・・と、お思いの方、是非お越しください。県立大には、工学部の他にも、環境科学部という特色ある学部もございますので、きっとお役に立てることがあると思います。



びわこ成蹊スポーツ大学
鹿間隆さん

私たちは「元気づくり」の支援と銘打って、スポーツを通じて健康作り、予防医学、介護予防等の支援をさせていただきます。是非、お気軽にご相談ください。

プラザ事業紹介 ②

展示ギャラリー

コラボしが21の1階に滋賀県内企業の製造品や技術、特産品などの展示ギャラリーを設けました。新製品、新サービスおよび新技術の展示をして販路拡大や技術交流の促進を図るためのものです。



▲サインボード。



▲コラボレイティブサポート展。

ご利用条件

- ①展示期間／最長2か月間です。
- ②展示時間／午前9時から午後5時45分までです。
- ③展示日／年末年始を除く毎日です。
[土日、祝日も開館]
- ④面積／約50平方メートル(7m×7m程度)です。
- ⑤備品関係／可動パーティション、展示パネル、マイク設備、ハンガーセット、フック、展示台、サインスタンドが用意されています。
- ⑥利用料／無料です。
- ⑦運営関係／管理人、案内人は設置しません。
(出展品の破損、汚損、滅失の責めは負いません)
- ⑧商行為／展示ギャラリーでの売買行為は認めておりません。

展示対象

- ①コラボしが21入居団体が主催、共催する物件もしくは商工業の振興、労働福祉の拠点であるコラボしが21に相応しい内容の物件が展示できます。
- ②個人の企業や団体の利用は原則として認められませんが、コラボしが21入居団体からの推薦を受けた企業もしくは団体が利用する場合は展示できます。

展示申込

- ①コラボしが21入居団体が作成する「展示ギャラリー展示推薦書」および「展示ギャラリー備品借用書」を提出していただくことにより申込受付となります。
- ②日程などについては別途調整・協議させていただきます。



▲ドイツバイエルン州環境企業展。



▶滋賀の餅生地展。

●申込先および問合せ先／
滋賀県産業支援プラザ・産業情報グループ
TEL.077-511-1411 FAX.077-511-1418

プラザ事業紹介 ③

「コラボしが21インキュベーション」について

滋賀県産業支援プラザでは、「コラボしが21インキュベーション」を設置し、
ニュービジネスの事業化を支援しています。

コラボしが21 インキュベーションとは……

コラボしが21インキュベーションは起業家と共に考え、
行動するハンズオン型の事業化支援施設です。
IM(インキュベーション・マネージャー)を配置し、
事業化の支援をおこなうところが単なる賃貸施設と異なるところです。
起業家・企業の事業化の支援を通じ事業創出を図ることを目的として、
起業家の夢の実現を通じ、地域経済・産業の活性化の
お役に立つことこそが「コラボしが21インキュベーション」の
使命と考えています。



	創業オフィス	創業準備オフィス
入居資格	<ul style="list-style-type: none"> 合理的な事業計画を有する者 滋賀県内にて創業を目指す者 インキュベーションマネージャーの支援を常時必要としている者 	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀県内にて創業を予定している者 新事業創出に取り組んでいる、または取り組もうとしている者 インキュベーションマネージャーの支援を常時必要としている者
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 事業立上げ 資金計画 販路開拓など 	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の作成支援 事業立上げに関するサポート
利用期間	・3年(但し1年更新)	・6ヶ月
支援スペース	・20~48㎡(20㎡中心)	・ハイパーテーションタイプ(面積約7.5㎡)
利用料金	・1,700円/㎡(電気代など共益費は別途)	・5,000円/月
施設構成	<ul style="list-style-type: none"> 電源設備(電気容量20A×2回線)・個別照明 電話用回線(2回線分) ※各自でご契約下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源設備(電気容量20A×1回線)・共用電気照明・共用空調設備 インターネット接続用LAN回線(1回線分) ※インターネット共用回線として利用 電話用回線(1回線分) ※各自でご契約下さい。
IT環境	・各自でご契約下さい。	<ul style="list-style-type: none"> インターネット共用回線(Bフレッツ共用100MB)で常時接続 ※電子メールは提供いたしません。
共用スペース	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングルーム コピー室 	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングルーム コピー室
その他	・24時間利用可能・駐車場(有料)	・24時間利用可能・駐車場(有料)

「コラボしが21インキュベーション」には、創業オフィス(13室)と
創業準備オフィス(10室)の2つのタイプのインキュベーション施設があります。



▲創業オフィス



▲4階フロアと掲示板



▲創業準備オフィス

入居企業紹介

現在、「コラボしが21インキュベーション」(創業オフィス)に入居されている企業者さんをご紹介します。

創業オフィス

- 401: Auto-ID フロンティア(株)／
自動認識管理システムの開発・販売
- 402: (株)アンド・e／インターネット通信販売
- 403: Office MizuhoNet／
ITソリューションによるネットビジネス支援サービス
- 404: デザイン・イット／3次元CADを核とした設計支援
- 405: Aki's(アキズ)／アパレル企画、ネット通販、写真
- 406: Dot LAB(ドットラボ)／広告企画・製作
- 412: (有)キャッツ／情報サービス
- 413: アイディンシステム(株)／システム開発
- 414: (株)ロックウェーブ／
モバイルマーケティングサービス・WEBシステム開発

創業準備オフィス

入居者数は8室です。(2006年2月現在)

- 問合せ先／滋賀県産業支援プラザ・創業支援室
TEL.077-511-1416
e-mail: in@shigaplaza.or.jp



インキュベーションマネージャーからの一言

滋賀県は交通・情報の要衝として近江商人を育みました。近江商人はビジネスの強さと共に「売り手よし・買い手よし・世間よし」の「三方よし」の理念で早くからCSR(社会的責任)を実践していたと言えます。我々の事業化支援コンセプトも、この近江商人の理念と近代的な技術やサービスやマネジメントの新結合(イノベーション)と考えています。「イノベーション」を創出する。これが「コラボしが21インキュベーション」の事業コンセプトです。



創業支援室長
兼インキュベーション
マネージャー
西岡孝幸



アロマテラピーのお店
おれんじぴーる

西島かおるさん

〒526-0059 滋賀県長浜市元浜町22-9
TEL&FAX: 0749-63-0877
URL: <http://www.orangepeel.jp/>
e-mail: orangepeel_n@ybb.ne.jp

私が幸せになれば、 隣の人も幸せになれる！

県内初のアロマテラピー専門店「おれんじぴーる」を開業し、ショップ経営のほか、スクールとサロンの運営に大忙しの日々を過ごされている西島かおるさんをご紹介します。

社団法人日本アロマ環境のインストラクター資格を取得したことがきっかけとなり、講師活動を始められました。

「植物のよい香りが、心と身体をやさしく癒してくれます。自分で出来る自分へのささやかな贅沢。でも大きないたわり、それがアロマテラピーです。」

自然療法である「アロマテラピー」を普及したいという思いが強くなり、診療所だった建物を改装してお店を開業されたそうです。最初は、オリジナル商品の開発などで色々とお悩みの事もあったそうですが、様々な悩みを抱えたお客さまが香りによって心も身体も元気づけられ、幸せになっていただくお手伝いをさせて貰っているという気持ちで、自分自身も幸せになれる仕事だと誇りを持ってようになったと笑顔で語られました。

●このコーナーでは、skki登録企業の中から魅力的なお仕事をされている方を紹介しています。

複数の業種をコラボレーションしている
店舗の経営手法を
「コラボEYE」として紹介

SHOP
コラボ@NAVI

池田牧場



鈴鹿山系のふもとに広がる「池田牧場」で イタリアンジェラートと農家レストランのコラボ。

コラボ EYE その1

イタリアンジェラート 「香想」



搾り立ての牛乳75%と新鮮な旬の素材と おいしい空気をつくる。

平成9年オープンから人気急上昇で、休日には千人が訪れる人気店。専業酪農家の池田喜久子さん(56歳)は搾り立ての牛乳を、多くの人に味わってもらおうと、「すぐ食べられる」「品揃えが豊富」「見た目がきれい」の3つの条件をクリアするジェラートに辿り着きました。日本では高脂肪の高級アイスが人気だった当時、ニューヨークでは低脂肪のジェラートが健康志向で大流行していると留学先の息子から聞き、単身イタリアへ。製菓教室の先生の協力で着色料や香料、

保存料等一切使わず、口溶けがよく、新鮮な牛乳を75%以上使った池田牧場の味を完成。旬の地元の自然素材そのままに、美味しい景色と空気といっしょに味わってほしいという思いを実現しました。イタリアンジェラート・シングル260円/ダブル315円はミルク、バニラ、チョコなど一般的なものから、珍しい商品で近江米、しょうがなど季節限定も含めて約30種類。いろんな素材を試して、日々新しい味へのチャレンジを続けています。

コラボ EYE その2

田舎の親戚「香想庵」



田舎の親戚に来たようなスローな時間の流れて 本物の食を堪能してほしい。

平成15年、池田さんの実家である築160年の茅葺屋根の民家を移築。青森のヨシで屋根を修復し、幼い頃の暖かい家庭の思い出そのままに再現。その名には田舎の親戚に来たようにゆっくりしてもらいたいとの願いを込めました。木地師発祥の地と言われ、豊かな自然が多い永源寺。ここでしか味わえないおとどさんで炊いたご飯や牛乳豆腐、岩魚、鹿など、素材の味を大切に優しい味付けで仕上げています。出迎えるのも田舎のおばさんとおじさんで、野菜はその方の

お宅で作る安心なものを厳選。自然の恵みを生かした「田舎の親戚御膳3800円」「鹿コース/岩魚コース2000円」など。こだわりの有機米を使ったおかゆ(白粥・茶粥)は自家製のお漬物でどうぞ。メインの鹿肉は、増えすぎて有害獣となってしまった鹿と人との共存を考えてのこと、鹿肉のローストは特製ドレッシングでいただくと絶品です。人間は他の多くの生き物から命をもらって生きている、「食の人切さ」を農家レストランから発信しています。

コラボ EYE その3

キーマン



▲池田喜久子さん

酪農家の夫婦二人三脚で アイスクリームの直販に 生産者の人生を賭ける。

昭和57年頃、牛乳の生産調整で「余った牛乳を捨てる」という堪え難い日々が続きました。ある時、知人に「おいしい牛乳をなぜ売らないの?」と言われ、この当たり前の言葉にハッとしました。小規模生産者は自家販売ができないという制約も、夫の義昭さんの粘り強い交渉で道が開けました。酪農の傍ら、野菜やハーブの栽培で地域との付き合いも深まりました。異業種の女性たちとの交流もあり、多くの出会いに助けられ、ジェラートの生産・加工・直売を始めて2年で年商を2倍に。一番の願いは、一人ひとりのお客様と長く付き合う経営を目標に、農村から町への発進基地にしていくことです。



▲限定商品の黒豆きなこ315円。黒豆の豆くさが生きています。



▲季節の移ろいを楽しみながら食事ができる。

コラボ EYE その4

ミッション



人々が忘れてきている 食べることは命をもらうこと 生産者から消費者に伝えたい。

農家育ちの喜久子さんは、子育てをとおして安心・安全な食にこだわり続けてきました。「もっと、食べることを大切に」「牛は餌やって掃除して、子どもを産ませて初めてお乳が出る」など、農業者の思いを伝えることが役目と感じています。「香想」とは食べ物、自然の香り、空気の香り、そして人の香りも込めています。人とのふれあいを大切に、自分らしく生きることを気づかせてくれる「お母さん」のような存在です。今後、地元の高齢者の知恵に学ぶ、食と農の宿泊型のグリーンツーリズムを計画中。生産者と消費者、都市と村を縮める場にするのが目下の夢です。



▲田舎の親戚のスタッフのみなさん。



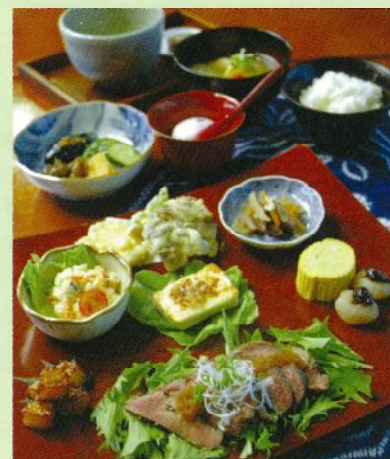
▲天気が良ければ、目の前の鈴鹿山系の景色は最高!

池田牧場

滋賀県東近江市和南町2191
イタリアンジェラート「香想」
TEL.0748-27-1600 FAX.0748-27-1626
●営業時間：10:00～18:00
(12月～3月は17:00閉店)

田舎の親戚「香想庵」

- 営業時間：11:00～15:00
- 定休日は共に/毎水曜日
- 車利用/名神八日市ICよりR421を東へ約20分



田舎の親戚御膳 / 3800円 (要予約)

お料理の前に、お茶とお菓子でまず一服。窓に広がる自然を楽しみながら、地元の源流水で育った岩魚の塩焼きや刺身、こだわりの湯豆腐や身体にやさしい食材を使った料理がいただけます。もちろん食後は、池田牧場自慢のジェラートがつきますよ。その他、大皿コース2000円、囲合定食950円、おかけ膳700円など。



池田牧場ホームページ

<http://www.t-craft.com/ikeda/>

「自然の美味しさとお母さんの温かさでカップいっぱい」のジェラートを誕生日会やパーティにいかが? 30種類以上からお好きな味を、インターネットで申し込むことができます。また、田舎の親戚周辺の四季折々の自然豊かなスナップ写真や、築160年の実家を移築したときの様子が掲載されていて興味津々ですよ。

●詳しい内容をプラザホームページで紹介しています。

URL: <http://www.shigaplaza.or.jp/uchide/main.html>



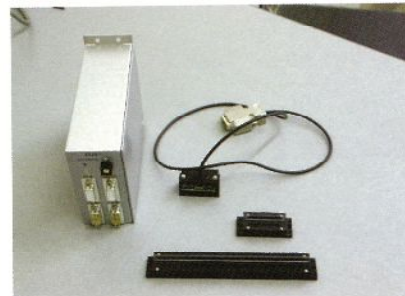
**高速・高精度測長を
可能にしたナノメートル
単位の移動量を検出できる
精密測長器を開発。**

**株式会社大阪電子科学
技術研究所**

代表取締役
大園敏雄さん

- 本社/大津市南比良525番地の5
- TEL&FAX.072-623-4550(炭木営業所)
- 業務内容/産業用電子計測機器、各種機械器具の自動制御装置、電子計測システム機器及び電子部品の開発並びに製造販売。またこれらに関する精密電子部品の研究開発並びに製造、販売及びコンサルタント。
- URL: <http://www.osaka-denshi.co.jp/>

平成10年に大阪大学大学院工学研究科電子工学専攻の吉野勝美教授が液晶電気光学特性を発明。この発明をきっかけに、赤外線センサの開発に取り組んでいた大園氏が参加し、液晶による精密測長器を開発。一昨年、その製造・販売を行う大学発ベンチャー企業として大阪電子科学技術研究所を設立。現在、25mm長の測長器の製造・販売を開始しているが、今後は120mm長、360mm長の測長器の開発、製品化を目指している。次世代の半導体生産装置、光・ハードディスク欠陥検査装置等の精密位置決めへの利用が期待されている。



再現性精度±20nm、測定長25mmの汎用性の高い低価格モデル。



**42年の研磨技術の蓄積と
“あらゆるものを磨く”
オンリーワンの最新設備で
最先端産業を側面支援。**

株式会社クリスタル光学

代表取締役社長
桐野茂さん

- 本社/大津市今堅田3-4-25
- 設立/昭和60年(1985年)
- TEL.077-573-2288 FAX.077-573-6766
- 業務内容/超精密研磨(ステンレス・金属・セラミック・新素材・光学部品etc)/超精密研削(金属・超硬等円筒・内面研削加工)/超音波洗浄装置「クリスタルシリーズ」
- URL: <http://www.crystal-opt.co.jp>

1985年研磨職人から起業。光学半結晶の研磨技術を基礎に光通信関係、セラミック、半導体等の超精密研磨へと事業を拡大。15年前、他社に先駆け液晶事業に乗り出し、液晶各社が開発中の第八世代パネル用製造装置に対応。日本の最先端産業各分野で高い技術力と品質で、業界を側面からサポート。また、環境にやさしい超音波洗浄装置の開発に取り組むなど、“地球の一步先を見つめる会社”を目指す。2004年ISO14001認証取得。さらに、オンリーワン企業による五社連合で「新連携」を展開するほか、食品加工業界にも新旋風を巻き起こしている。



超精密非球面切削加工・ダイヤモンドターニングセンター。



**粉末の品質を保持したまま、
粉末を殺菌する
粉末殺菌装置を開発し
市場での販売を目指す。**

フジミル株式会社

代表取締役
藤田浩三さん

- 本社・工場/大津市比叡辻1-9-2
- TEL.077-579-6633 FAX.077-579-6634
- 業務内容/乾燥粉末食品原料の粉碎殺菌委託加工事業、粉末殺菌装置の開発事業
- URL: <http://www.fujimill.co.jp/about/index.html>

ビルメンテナンス業として入った製茶会社の石臼場(抹茶工場)の空調整備、室内清掃がきっかけとなり、乾燥食材粉末装置及び粉末殺菌装置の研究に取り組んだ。試験装置は完成し、実用装置もほぼ完成。粉末装置及びその方法で特許を取得し、現在、殺菌装置及びその方法で特許を出願中。健康食品関係及び製薬関係からのサンプルテストも多く、結果は良好。特に殺菌方法については世界的にも類をみないものであることから製品化を図り、同時に委託加工も考案中。今後は機械装置の自動化をクリアするために、機械メーカーとタイアップで市場販売できる製品の開発を目指している。



密封容器(ドラム)内での加工により、粉末飛散を抑え、環境衛生面に配慮された殺菌装置。



**機能部品メーカーとして
職人の技能・技術が結集する
ものづくりDNAと
チャレンジ精神で
日本の基幹産業を支える。**

宮川バネ工業株式会社

代表取締役社長
宮川卓也さん

- 本社/東近江市岡町31-1
- 設立/昭和28年(1953年)
- TEL.0749-46-0193 FAX.0749-46-0199
- 業務内容/各種薄板バネ、コイルバネ、スイッチ部品のプレス・マルチ・金型・LIMS(シリコンゴム射出成形)加工
- URL: <http://www.m-b-k.co.jp/>

1953年創業者が大阪で精密バネの設計・製作業をスタート。大手電気メーカーとの取引が本格化し、1973年に八日市市(現・東近江市)に工場を新設。1979年「マルチフォーミングマシン」をベースにしたオリジナル機開発に取り組み、数十工程ものバネ加工の自動化でコストダウンに成功。現在、携帯電話やコンピュータ等の電子部品、電化製品、自動車部品など日本の基幹産業のキーパーツを提供している。先代から受け継ぐ“ものづくりDNA”と“百見は一行に如かず”という経営哲学で、経営資源をカタチにするB to C事業や産学官連携による新製品開発に挑む。



マルチフォーミングマシン。複数の工程を1台でこなす。

トピックス TOPICS

新連携に向けての動き

**新連携でパワーアップ！
皆さんも挑戦してみませんか、新連携！
新連携で、可能性を広げよう。**

新連携（中小企業新事業活動促進法では、「異分野連携新事業分野開拓」といいます）とは、事業の分野を異にする事業者が連携し、保有している設備、技術、知識、技能その他の事業活動に活用される資源を有効に組み合わせ、新事業活動（※）を行うことにより、新たな事業分野の開拓を図ることをいいます。

現在、滋賀県立草津SOHOビジネスオフィスに入居されている（有）スミタシステムさんが中心となり、新連携事業にチャレンジされていますので、その事例をご紹介します。

※新事業活動とは

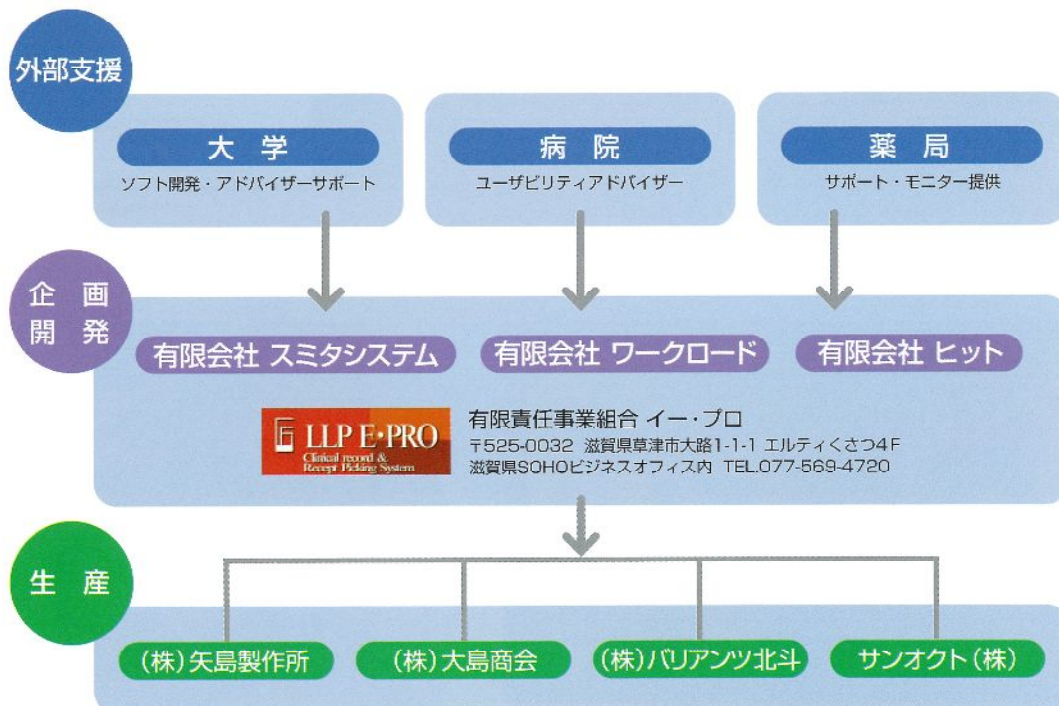
- ①新商品の開発又は生産
 - ②新役務の開発又は提供
 - ③商品の新たな生産又は販売の方式の導入
 - ④役務の新たな提供の方式の導入
- その他新たな事業活動をいいます。

（有）スミタシステムの取組事例

民間企業で構成されているLLP（有限責任組合）を設立し、医療事故と個人情報漏洩を防ぐ、カルテ・レセプトピックアップシステムを地域企業と共同開発しています。「新連携事業」の指定に向け、地域に密着した病院・薬局などの医療機関と、大学、企業が、私たちのこれからの生活の安全に向け知識を集結。弊社のシステムと医療機関のアドバイス、立命館大学の支援、企業のテクニカルサポートを受け、「利便性・将来性・運用コスト」とともにベストバランスの医療業務支援システム「SWB-10000」の開発がいよいよスタートします。



（有）スミタシステム
代表取締役
墨田公一さん



わが社の ホームページ自慢



オフィス・ジロー
<http://jiroh.com/>

当事業所では、情報システム化の相談から具体的なソフト開発までの一貫したサービスを提供しています。中小事業者さんの中には、「市販のソフトでは自社の業務に合わず限界がある」と思う一方で「オーダーメイドのソフトでは高く手が出ない」という悩みを持ったところも多いのではないでしょうか。そういった事業者さんの課題・要望を十分に聞き取り、「かゆい所に手の届く」システムをなるべく安価に作成して、提供していきたいと考えています。

ホームページでは、今までに作成してきたシステムの紹介をはじめ、現在パッケージソフトとして販売している「園芸店向け販売管理システム」や「ISO文書管理システム」のカタログも掲載しております。今後は、システム導入による成果事例も紹介していきたいと考えています。

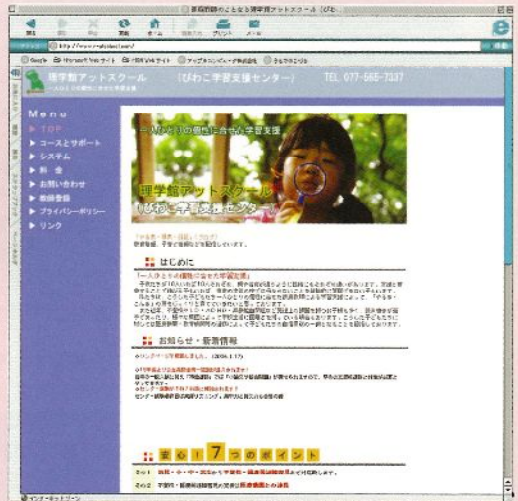


理学館アットスクール(びわこ学習支援センター)
<http://www.r-atschool.com>

「一人ひとりの個性に合わせた学習支援」

子どもたちが10人いれば10人それぞれ、顔や名前が違ってくるように性格にもそれぞれ違いがあります。友だちと競争することで伸びる子もいれば、複数の生徒の中では分からないことを積極的に質問できない子もいます。私たちは、こうした子どもたち一人ひとりの個性に合わせた家庭教師による学習支援によって、「やるき・こんき」の芽をじっくりと育てていきたいと思っています。

また近年、不登校やLD・ADHD・高機能自閉症など発達上の課題を持つお子様も多く、読み書きが苦手であったり、様々な原因によって学校生活に困難さを持っている場合もあります。こうした子どもたちに対しては医療機関・教育機関などの連携によって子どもたちの自信回復の一助となることを目指しております。



インターネットで簡単検索
滋賀県企業情報検索市場
スキキ
<http://skki.shigaplaza.or.jp/>

入会金
年会費など
無料

詳しい情報は、滋賀県企業情報検索市場 skki (すっき) をご覧ください。skkiには、この他にも多数の企業の情報が掲載されています。また、登録企業を募集しています。



企業のやる気を応援します！

財団法人滋賀県産業支援プラザ

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号 コラボしが21(2階)
TEL: 077-511-1411(産業情報グループ) FAX: 077-511-1418
URL: <http://www.shigaplaza.or.jp> e-mail: info@shigaplaza.or.jp